

# ラストフリーP ラストフリーPEX の特長



ラストフリーP (無機系シリコン樹脂防錆塗料：犠牲防食下塗塗料)

シリコン樹脂 + 亜鉛・アルミニウム粉末が主成分

特徴：鉄と亜鉛との電位差により、犠牲防食効果を発揮

素地調整：1種ケレン(ブラスト処理)

施工：1液型, エアレススプレー/ハケ塗りにより施工

標準使用量：450 g/m<sup>2</sup> (目標膜厚 100 μm:ロスは含まず, 理論値より算出)



ラストフリーPEX (無機系シリコン樹脂防錆塗料：遮断防錆上塗塗料)

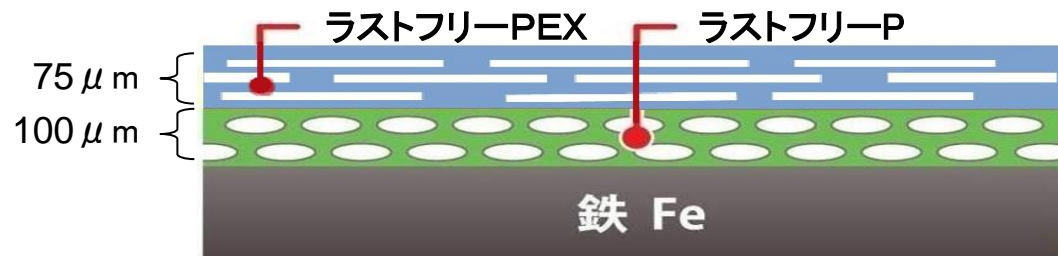
シリコン樹脂 + アルミニウム粉末が主成分

特徴：シリコン樹脂とアルミニウム粉末により、強い遮蔽膜を形成

施工：1液型, エアレススプレー/ハケ塗りにより施工

標準使用量：150 g/m<sup>2</sup> (目標膜厚 75 μm:ロスは含まず, 理論値より算出)

## 特長① ラストフリーは薄膜で強力な防錆能力を発揮する！



### (1層目)ラストフリーP

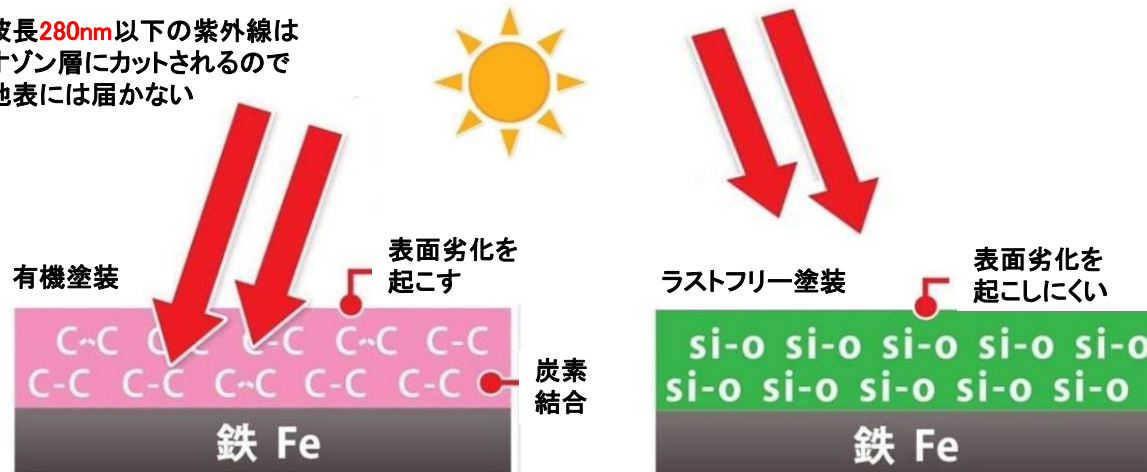
- ・主成分である亜鉛が、メッキと同様の犠牲防食作用により、さびの発生を防ぐ。
- ・シリコン樹脂の鉄基材への高い付着性と遮蔽性により、外部からの腐食要因(水分、酸素、塩分等)の侵入を防ぐ。

### (2層目)ラストフリーPEX

- ・1層目との高い親和性による付着性と遮蔽性により、外部からの腐食要因の侵入を防ぐ。
- ・アルミニウム粉末の働きにより、外部からの腐食要因の侵入をブロック。

## 特長② ラストフリーは紫外線劣化を起こしにくい！

波長280nm以下の紫外線はオゾン層にカットされるので地表には届かない



ほとんどの有機塗料(C-C結合主体)は280nm以上の波長領域に解離感度波長をもつため、紫外線の影響を受け表面劣化を起こす。

ラストフリー(Si-O結合主体)は、紫外線領域ではほとんど解離感度波長をもたず、もしくは280nm以下の波長領域に解離感度波長をもつが、波長280nm以下の紫外線はオゾン層にカットされるので地表には届かない。よってラストフリーは表面劣化を起こしにくい。

## 特長③ ラストフリーは環境負荷が低い！

VOC(揮発性有機化合物)排出規制:BTX(ベンゼン, トルエン, キシレン)を含む一切の芳香族系有機溶剤が含まれておらず, VOCの発生が僅かなので低臭。

## 特長④ ラストフリーはライフサイクルコスト(LCC)に優れている！

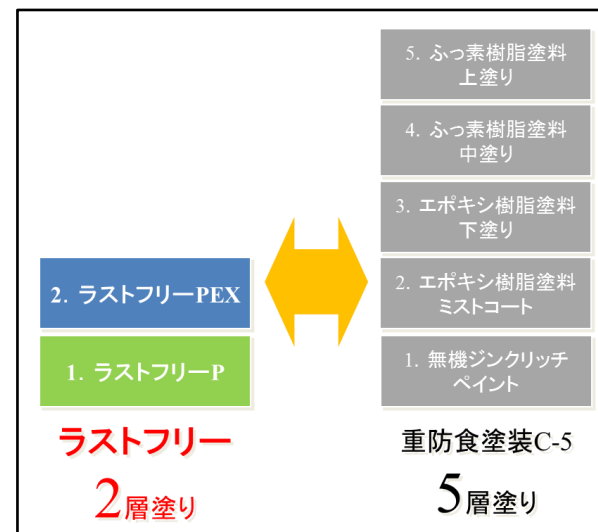


ラストフリーは、重防食塗装に比較して塗替えまでの期間が長いので、同じ期間であれば塗り替え回数が少なくて済む。よって、維持管理に掛かる費用が少ないためにLCCに優れるといえる。

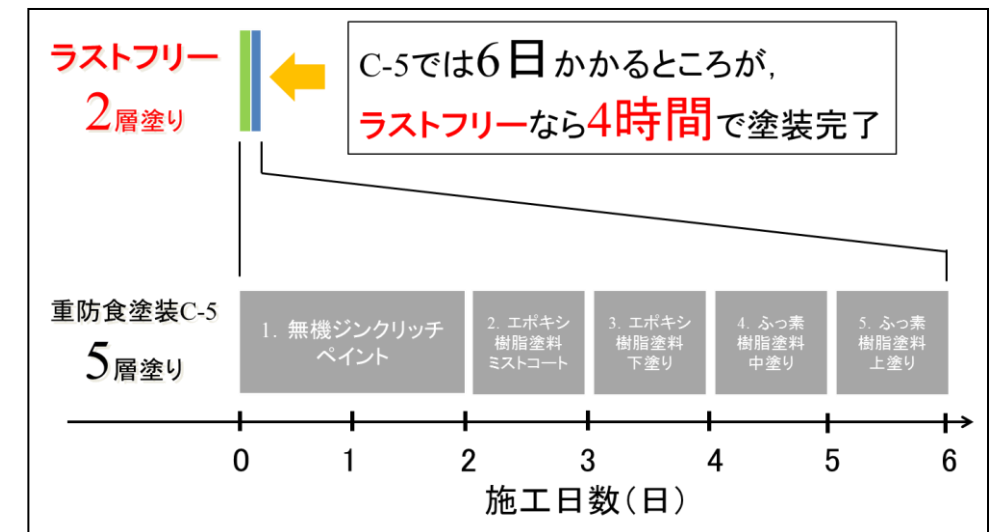


## 特長⑤ ラストフリーは施工性に優れている！

**1液性**なので、現場で攪拌して**そのまま塗布するだけ**。特別な工具を必要とせず、ハケ塗り、エアレススプレー吹き施工性に優れている。



重防食塗装C-5, Rc-Iの5層塗りと比較して、ラストフリーは2層塗りなので**施工費削減, 工期短縮が可能**。



施工日数は、重防食塗装C-5, Rc-Iの6日と比較すると、ラストフリーPを塗布して約2時間後にラストフリーPEXを上塗り出来るので合計4時間となり、大幅に短縮される(気温20~25℃)。

## ラストフリーP



項目		内容			
液性		1液性			
容量		20kg			
色相		グレー			
比重(20℃)		2.40±0.10			
不揮発分		-			
乾燥時間	気温	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	12時間	4時間	2時間	1時間
標準乾燥膜厚		100μ m			
引火点		SDSを参照			
発火点		SDSを参照			

## ラストフリーPEX



項目		内容			
液性		1液性			
容量		15kg			
色相		シルバー			
比重(20℃)		1.20±0.10			
不揮発分		-			
乾燥時間	気温	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	12時間	4時間	2時間	1時間
標準乾燥膜厚		75μ m			
引火点		SDSを参照			
発火点		SDSを参照			

### 開発・販売製品

RUSTfree® P [ラストフリーP]

RUSTfree® PEX [ラストフリーPEX]

※本製品の内容は予告なく変更することがあります。